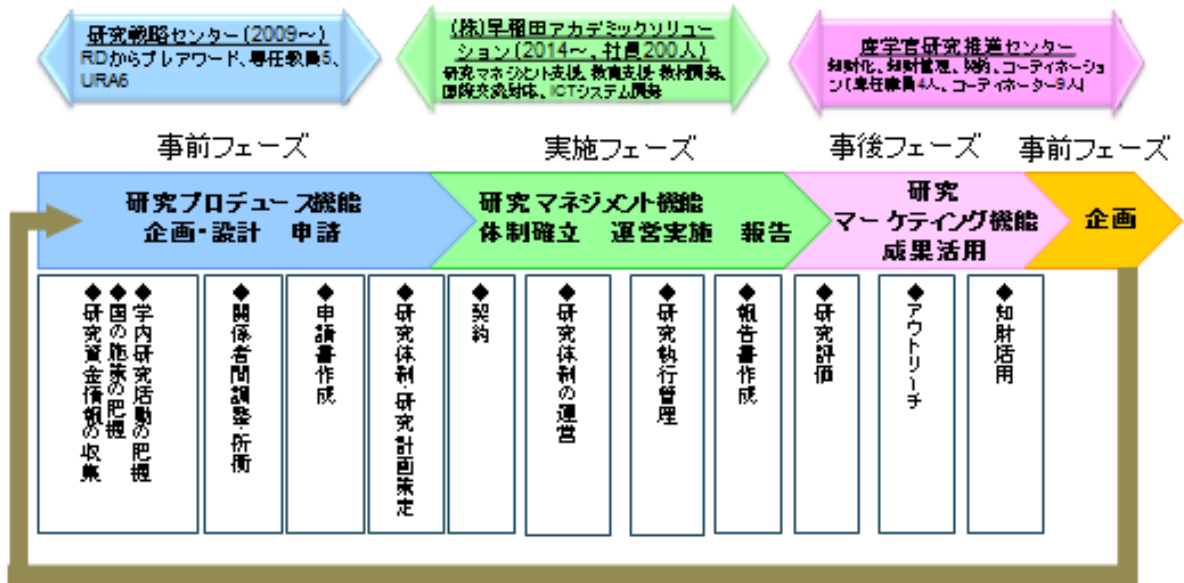


イノベーション創出への取組ーリサーチアドミニストレーションシステムー

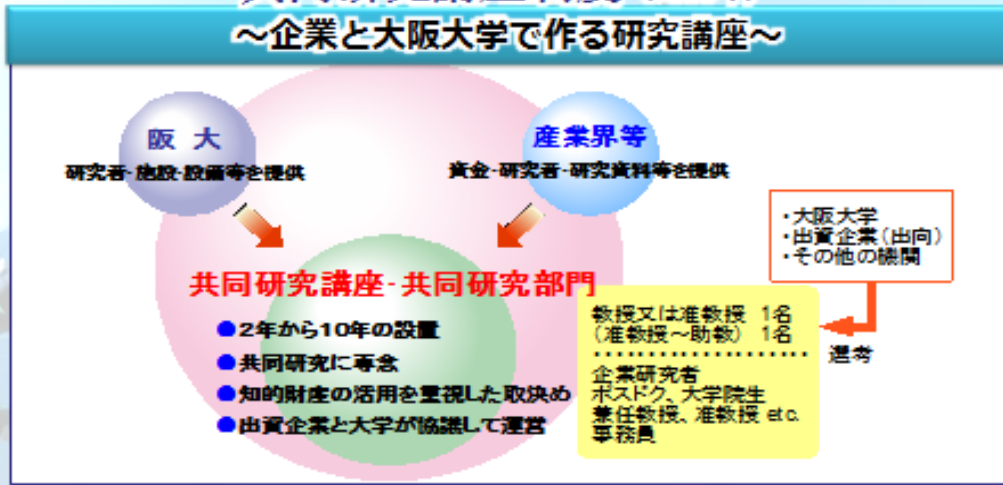


URA体制の位置づけ



共同研究講座制度（2006年）

～企業と大阪大学で作る研究講座～



共同研究講座の特徴	他制度との相違
大学と企業が協議し、講座を運営 ◇産業化を見据えた研究内容・期間の設定 ◇研究内容に合わせた研究スタッフの配置 ◇知的財産、成果は共有	◇寄附講座は大学主体による講座運営 ◇共同研究は個別開発の研究

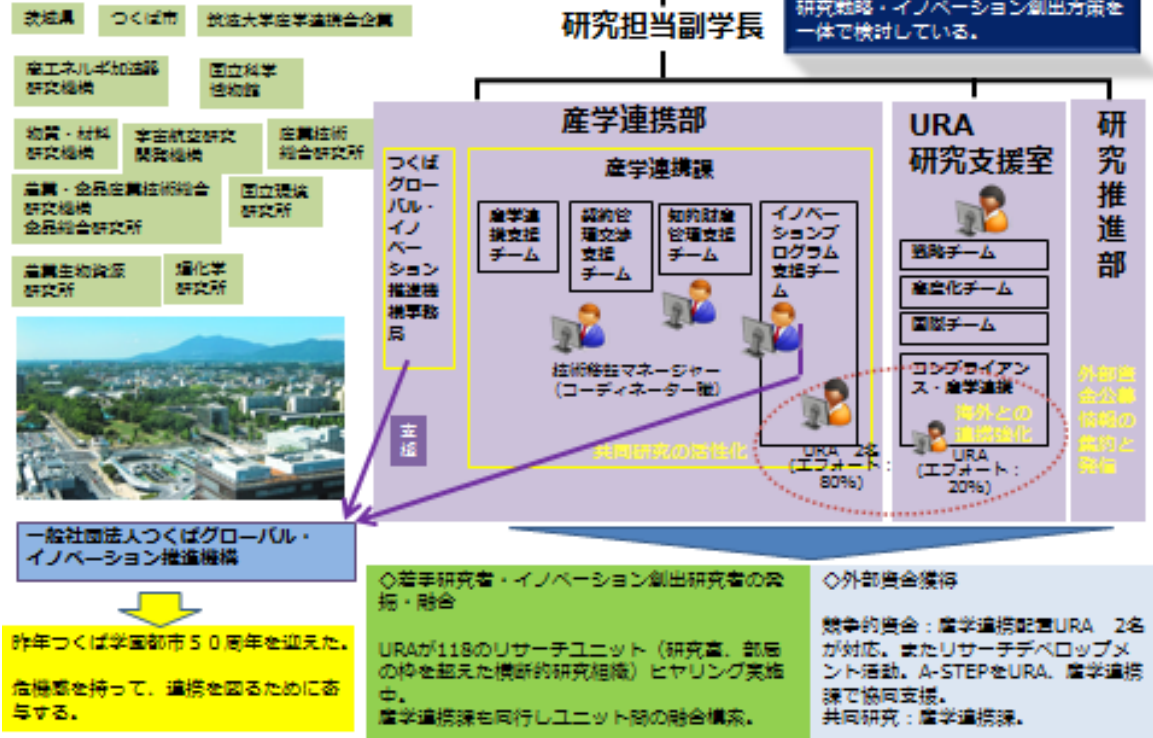
地域イノベーション創出に向けた  
北見工業大学における体制・人材の機能



大学の幅広い社会貢献活動強化を担う産学官連携スタッフ

# 資料41 各大学における取組(筑波大学)

筑波大学 イノベーション創出に関する取り組み  
～産学連携活動の観点から～



# 資料42 企業における取組 (トヨタ自動車株式会社)

2 プロジェクトマネジメントの取り組み事例

## ③企業出身の大学教員による産学協同研究講座

未来社会創造機構(COI拠点)へトヨタより下記3講座を設置(2014.4～)

- 知能化モビリティ部門
  - 人間研究部門
  - 交通・情報システム部門
- 企業
- ✓ 企業ニーズと研究シーズのマッチングの促進
  - ✓ 研究の加速
  - ✓ 学生への企業研究経験の場の提供 など

一つ屋根の下にて産学研究者がコミュニケーションができる環境づくり

